

Weekly Report

2010~2011年度



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブのシンボルは、白百合の花である。白百合の花は、純潔、高貴、優雅、そして平和の象徴である。この花の姿は、我々のクラブの理想である「平和と親善の促進」を象徴している。我々が目指すのは、この花の如く、純潔で高貴な人間性を養い、平和と親善の促進に貢献することである。我々が目指すのは、この花の如く、平和と親善の促進に貢献することである。

平成23年4月12日(火)

会長 安藤 登
幹事 山口 篤
会報 中村 和広

第1576回例会

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ <http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1576回例会記録 平成23年4月12日(火) 35/45回

<点鐘>

安藤登会長

・地区より2度目の寄付の要請がきました。全部で10,000円位になると思います。

<ソング> それこそロータリー

・プログラム変更の件 本日と次週は東日本大震災に関する話になる予定です。

<お客様ご紹介>

安藤登会長

・次年度の組織表ができました。

東京中央RC 豊嶋耘三様
東京新都心RC 小川弘様

以下、会長報告です。

<祝い事>

結城親睦委員

会員誕生 安藤登会長、伊藤会員、中島健児会員、伊丹会員

1. 東日本大震災災害地に対する支援活動⑤ (R財団寄付)①

2. 東日本大震災被災地に対する支援活動について物資支援②

・3月25日付けで第2520地区より岩手・宮城各県に、第2530地区(福島県)にロータリーとしての受け入れ先の準備が整い、今後はそちらに支援をいただきたいとの連絡がありました。社会奉仕委員会にも報告すること。

・支援活動義援金第2弾 1人あたり3,000円以上夜会の時にお休みの方は本日集金いたします。

3. ガバナー事務所より もっとロータリーカードを作りましょう。

4. 第2回麻生区観光写真コンクール表彰式について 4/19(火) 14:00~ 麻生区役所4階

5. 第4回 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり) 2011年実行委員会の資料について 白井会員に依頼いたします。

6. 会長・幹事会

5/11(水) 旭寿司 新百合ヶ丘別館

会長、幹事で出席いたします。



入会記念 小塚会員、笠会員、伊丹会員



<会長報告>

安藤登会長

先に、理事会がありましたので報告します。

第1578回 4月26日 招聘卓話 麻生区地域振興課 安全担当課長 杉山様

第1579回 5月10日 クラブ創立記念日(33年) チャーター会員卓話

第1580回 5月17日 クラブ協議会⑥

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

<幹事報告>

山口篤幹事

- *文書着 川崎とどろきRC 川崎中RC
- *会報着 川崎とどろきRC 川崎中RC

<ニコニコ委員会>

佐々木委員長

東京中央RC 豊嶋耘三様→「春の院展で大矢紀さんと十四彦さんのすばらしい作品を拝見させていただきました」。当クラブより 安藤登会長→「豊嶋耘三様、小川弘様ようこそ」。山口篤幹事→「東京中央RC 豊嶋耘三様、東京新都心RC 小川弘様ようこそいらっしゃいました」。中島眞一会員→「地区協議会に参加いただきありがとうございます」。大矢会員→「多くの人たちが院展においていただき御礼申し上げます」。中村会員→「長男とものが幼稚園に入園いたしました」。佐藤会員→「各委員長、地区協出席ご苦労様でした」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤志子会員、井上勇会員、北島会員、浅沼会員、小塚会員、中島健児会員、東会員、関山会員、嶋会員、白井会員、鈴木会員、高田会員、玉井会員、田内会員、碓井会員、渡邊会員、山口福枝会員、山崎会員、結城会員、佐々木会員。

<出席委員会>

山口福枝委員長

	会員	出席	欠席	マーク	出席率
第1576回	41※	30	11		73.17%
第1575回	41※	32	9	3	85.37%

*出席免除会員1

<ロータリー財団>

北島委員長

小塚会員→「入会記念として」。伊藤会員→「いろいろお世話になりました。これからもがんばります」。

<会長エレクト報告>

中島眞一会長エレクト

来年度の新しい組織表ができました。五大奉仕委員長には4月中に炉辺を開いていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	27件	28,000円	884件	987,115円
財団	2件	30,000円	37件	425,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	172,000円
米山	0件	0円	35件	442,000円

本日のプログラム

<震災報告>

嶋社会奉仕副委員長

4月3日夜から4月5日まで、慈恵医大の災害医療チームに所属し薬剤師という立場で、福島市内の避難所にボランティア活動に行ってきましたのでご報告いたします。

福島原発の事故によって、震災後ずっと避難民の方々は仕切りのない全くプライバシーのないところで、市内の各避難所に集団で分散して生活を続けています。現地に向かうにも道路が分断されていて、迂回をしながら避難所を何ヶ所か回りました。

我々の仕事は、患者さんの相談を受けて医薬品を渡したり、備蓄されている医療用薬品をドクターから指示が出た時にすぐに渡せるように分類したり、処方箋を近隣の医療機関に行くように促すなどです。また色々な避難所をまわるので、先に携帯用医薬品を箱に用意し、持ち運びながら移動しました。

震災後3週間くらい経つと、避難民の方々は体調とともに心のケアも必要になってきます。避難所の中の個室で待つのではなく、直接声をかけ患者さんの心をなごませるように活動をしてきました。

訪れた臨時の避難所には、物資がおにぎりや菓子パンぐらいしかなく、また透析患者もいる所だったので、ヘルスメーターや、他に必要な物資を購入したものを慈恵医大から差し上げてきました。物資は結構あるのですが、末端の避難所まで届きにくいという状況でした。

福島県なので線量計を朝測り、帰ってきてからの数値を再度測ります。放射線量は一日あたり、約2マイクロシーベルトでした。

福島原発の避難民の方々は、家はあっても仕事がなくやることがない、また今後の見通しがつかない、という心の不安定な状態でした。今後の更なる支援がもっと重要になると考えます。



■佐々木恒治会員に、2011～12年度 第2590地区 人道的補助金委員会の委嘱状が届きました。